

## 国際交流に笑顔の花咲く

6月22日、インドの中高生8名(引率教員2名)が教育旅行で多古高を訪れ、1年生の英語や3年生の書道の授業、生産流通科の3年生とトマトの収穫体験を通じて交流を深めました。この交流会は富里市でインドカレー屋を営んでいるジナ ナラヤンシンさんが企画したものです。始めはお互い緊張した面持ちでしたが、多古高の生徒たちは英語で会話しようと一生懸命奮闘し、内容が通じると笑いあう姿も見られました。お互いの生徒たちにとって貴重な体験となったことでしょう。



## 多古高のさらなる活躍を願って

6月21日、町の水稲生産農家団体「多古町やる気集団」が多古高校に多古米コシヒカリを寄贈しました。この取り組みは今年で3年目を迎え、生徒たちが部活動などで力を発揮してもらおうと農家から寄贈者を募り、今回集まった2俵半を同団体の寺田会長から生徒会長の加瀬拓也さんに手渡されました。多古高の渡邊校長は、「運動部の中には既に夏の大会が終わり新チームとして動き出している部活もあります。広く活用させてもらいたいです」と話していました。町の生産農家の皆さんの思いから生まれたこの取り組み、生徒たちにも伝わっていることでしょう。



## 日本寺を彩るあじさい

6月17日に日本寺であじさい祭りが開催され、鮮やかに咲き誇るあじさいが多くの来場者を出迎えました。本堂では献花祭、野外ステージでは多古ジャズバンド演奏、ジャズライブ、社交ダンスやキッズダンスが会場を盛り上げました。満開のあじさいをバックに演奏するジャズの音色は、来場者の目も心も満たしてくれたことでしょう。来年もきれいな花を咲かせ、日本寺に参拝者が増えることを願います。



## みんな覚えてね 「多古台スカイロード」

昨年より全線開通となっている町道染井・多古台線の愛称を募集したところ、212作品の応募があり、選考委員会での厳正なる審査の結果『多古台スカイロード』に決定しました。

6月22日には役場で表彰式が行われ、名付け親の齋藤百花さん(常磐小6年生)に表彰状と記念品が町長から贈られました。百花さんは「家族みんなで話し合い、多古台から成田空港につながっている道なのでスカイロードにしました。選ばれたときはびっくりしたけど、これからはずっとこの名前だと思おううれしいです」と笑顔で話してくれました。受賞おめでとうございます。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場企画空港政策課広報係  
☎76-5409



## いじめについて考えよう

5月23日、常磐小4年生を対象とした人権教室が開催されました。講師は、長く教員を務められ現在は人権擁護委員の宇井葉子さん。今回のテーマは「いじめ」。自分の思ったことを発表し、友達の話をよく聞こうと呼び掛け「いじめが無く、学校で楽しく過ごすにはどうすればいいのか」「もし、いじめにあってしまったらどうしたらよいか」などDVDを視聴しながら、クラス全員で話し合いました。子どもたちからの意見では、「自分が嫌なことは相手にもしてはいけない」「いじめをいじめで返しても、いじめは無くならない」など、素晴らしい発表がありました。また、授業を終え感想を尋ねると、宇井凜心さんは「友達の気持ちを考えて行動すればいじめは無くなると思いました」と話してくれました。13名の児童たちは、この貴重な学習を通して、これからの学校生活にきっと役立たせてくれるでしょう。



## 平成30年度多古町消防団のリーダーです！

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ消火活動や救助活動を行い、町民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。各地区に配置される消防団員503名のリーダーとなる皆さんを紹介します。

団長	熊澤信宏【島】	第1分団長	白鳥正樹【居射】
副団長	工藤和明【北場】	第2分団長	高橋 渉【島】
〃	瓜生 修【大原】	第3分団長	糸岡克悟【井野】
本部分団長	佐藤高一【染井】	第4分団長	越川泰広【十倉三】
〃	所 雅視【堀ノ尻】	第5分団長	石井雄士【本三倉】
〃	土屋敏一【東佐野】	第6分団長	石井秀俊【柏熊】
		第7分団長	宇井一裕【高田】



## 自衛官募集相談員の役割とは

6月19日、自衛官募集相談員の委嘱式が町役場において行われました。平成12年度から相談員を務められている野老恵子さん(堀ノ尻)へ町長、千葉地方協力本部長の連名による委嘱状が交付されました。自衛官は国の防衛をはじめ、大規模地震や自然災害現場の復旧作業の災害派遣など幅広い活躍をしていますが、その志願者に関する情報提供や募集活動の支援をボランティアで行うのが相談員の役割です。野老さんの地道な活動が入隊希望者との架け橋となることを期待します。

